

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 オートバックスセブン  
 コード番号 9832 URL <http://www.autobacs.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 湧田 節夫  
 (氏名) 井手 秀博

TEL 03-6219-8829

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	186,561	△11.1	10,364	69.4	11,543	62.4	5,669	413.6
21年3月期第3四半期	209,766	—	6,118	—	7,109	—	1,103	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第3四半期	156.04	—
21年3月期第3四半期	29.29	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第3四半期	240,104	151,747	62.9	4,216.34
21年3月期	224,168	155,478	69.0	4,132.75

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 151,140百万円 21年3月期 154,763百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
22年3月期	—	60.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	60.00	120.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	231,300	△10.7	9,700	90.6	10,900	66.2	5,700	—	159.01

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有  
新規 一社 (社名 ) 除外 1社 (社名 オートボックストラウスINC. )  
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	37,454,204株	21年3月期	39,255,175株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	1,607,737株	21年3月期	1,807,153株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	36,335,631株	21年3月期第3四半期	37,688,691株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産が好転しつつあること、政府の景気対策の効果などから、一部の企業では景気回復の兆しが見受けられました。しかしながら、雇用や所得環境が好転するまでにはいたらず、景気の先行き不透明感から消費者の節約志向は続き、消費環境は低迷いたしました。

そうした中、カー用品業界では、年度初めより高速道路料金の一部引き下げなどにより長距離で自動車を利用する機会が増加し、特に第2四半期まではE T C車載器を中心に消耗品やメンテナンスサービスの需要が大きく伸びました。しかしながら、第3四半期は消費不振が続く中でE T C特需の効果が薄れ、暖冬による季節商品の需要減なども加わったことにより事業環境は厳しいものとなりました。

このような事業環境を反映して、日本国内のフランチャイズ加盟店舗を含むオートバックスチェーンにおける「カー用品販売」は、第2四半期まではE T C車載器、ポータブルナビゲーション、オイル、長距離ドライブ関連商品などの売上が好調に推移いたしました。第3四半期は、E T C車載器などの需要が減退したことや特に太平洋側の大都市圏において降雪が少なかったことなどにより、スタッドレスタイヤやタイヤチェーンの売上などが前年同期比で落ち込む局面がありました。「車検・整備」は、車検のニーズ拡大を好機と捉え、店舗における取り組みの強化やポイントアップカード会員向けの電話による勧誘を実施したことなどにより、車検実施台数は前年同期比16.5%増加の約31万1千台となりました。これらの結果、主要業態であるオートバックス、スーパーオートバックス、オートハローズにおける「カー用品販売」と「車検・整備」を合わせた売上高の前年同期比は全店で1.4%、既存店で0.7%増加いたしました。

「車販売・買取」では、当連結会計年度から当事業の加盟店を絞り込んだことにより当社への販売を含むフランチャイズ加盟店舗の販売台数は、前年同期比16.3%減少の10,310台となりました。しかしながら各店舗での販売訓練などオートバックスチェーンの成功モデルの確立に努めたことにより、既存加盟店における販売台数は前年同期比12.9%増加いたしました。

このようなフランチャイズチェーンでの売上を受け、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は前年同期比11.1%減少の1,865億61百万円となりました。主に国内フランチャイズ加盟法人に対する売上で構成される卸売部門では、E T C車載器や補修用品などの売上が好調だったものの、景気低迷や若年層のクルマ離れの影響によるホイールやカースポーツ用品などの売上が減少いたしました。また、タイヤにおいて、気候要因によるスタッドレスタイヤの売上減少、前年度の値上げ前の駆け込み需要に対する反動、プライベートブランド・専売商品を中心とする低価格商品の構成比上昇などにより売上が減少いたしました。さらに中期経営計画の施策実施に伴い、フランチャイズ事業の譲渡を行なった二輪用品売上や株式会社ダイヤ・ボックスの合併解消に伴う燃料の売上、取り扱い店舗の絞り込みを行った自動車販売売上が減少いたしました。これらの要因により卸売部門の売上高は前年同期比7.4%減少の1,088億94百万円となりました。小売部門では、国内の店舗子会社においてE T C車載器と車検の売上が好調に推移いたしました。海外子会社においては、フランスにおける景気低迷、中国における店舗網縮小、為替変動の影響などにより売上が減少いたしました。さらに、中期経営計画の施策実施による米国事業からの撤退、台湾子会社の株式譲渡、二輪用品販売店舗の売却および株式会社カーズ札幌の清算に伴う売上減少などにより、小売部門の売上高は前年同期比16.2%減少の748億2百万円となりました。

売上総利益は事業の整理などに伴い減少したものの、国内において商品の絞り込みなど売上原価低減の取り組み強化、E T C車載器やその取り付け工賃の売上比率の上昇、売上総利益率の低い事業からの撤退などにより、売上総利益率は前年同期の30.5%から31.1%に上昇いたしました。販売費及び一般管理費はフランチャイズ加盟法人からの店舗譲受に伴う費用の増加があったものの、海外子会社などの事業の整理に伴う減少に加え、ITシステム関連費用や広告宣伝費などの削減などにより前年同期比17.6%減少の477億26百万円となり、売上高に対する比率は前年同期の27.6%から25.6%に改善いたしました。これらの結果、営業利益は前年同期に比べて69.4%増加の103億64百万円となりました。経常利益は営業外損益において前年同期に比べて受取配当金が減少したものの、為替差損や投資有価証券評価損も減少したことなどにより、前年同期比62.4%増加の115億43百万円となりました。さらに、特別利益としてAUTOBACS STRAUSS INC.の全株式を第三者に譲渡したことにより事業再構築引当金戻入額と当該株式の売却益など39億24百万円を計上いたしました。また、特別損失としてAUTOBACS STRAUSS INC.の全株式譲渡に伴う貸倒引当金繰入額、株式会社多摩ドライビングスクールと株式会社西武自動車学校の固定資産減損損失およびフランスにおける事業再構築費用など51億7百万円を計上いたしました。これらの結果、四半期純利益は前年同期比413.6%増加の56億69百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ7.1%、159億36百万円増加し、2,401億4百万円となりました。これは、主に有価証券および連結除外となったオートバックストラウスINC.の諸資産が減少した一方で、受取手形及び売掛金が増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ28.6%、196億67百万円増加し、883億56百万円となりました。これは、主に長期借入金および米国事業の撤退に伴う事業再構築引当金が増加した一方で、支払手形及び買掛金が増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2.4%、37億30百万円減少し、1,517億47百万円となりました。これは、主に自己株式の取得、剰余金の配当等によるものであります。

### キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、営業活動による資金の獲得164億4百万円、投資活動による資金の支出32億98百万円、財務活動による資金の支出116億37百万円等により前連結会計年度末に比べ14億58百万円増加し、532億7百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

主に、売上債権の増加241億47百万円がありました一方で、仕入債務の増加242億10百万円および税金等調整前四半期純利益103億60百万円等があり、164億4百万円の資金の獲得（前第3四半期連結累計期間は27億91百万円の資金の獲得）となりました。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

主に、有価証券の償還による収入20億円がありました一方で、有価証券の取得による支出19億96百万円および有形及び無形固定資産の取得による支出16億49百万円等があり、32億98百万円の資金の支出（前第3四半期連結累計期間は30億94百万円の資金の獲得）となりました。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

主に、自己株式の取得による支出53億72百万円および配当金の支払額40億23百万円等があり、116億37百万円の資金の支出（前第3四半期連結累計期間は82億21百万円の資金の支出）となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、平成21年11月6日発表の業績予想から変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後の天候など様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

## 4. その他

### （1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

第1四半期連結会計期間より連結子会社であったオートバックストラウスINC.はオートバックスU.S.A., INC.が所有する株式をすべて譲渡したため、連結の範囲から除外しております。

### （2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	47,251	39,140
受取手形及び売掛金	41,185	23,645
有価証券	9,484	13,830
商品	20,592	21,200
その他	44,555	39,833
貸倒引当金	375	683
流動資産合計	162,693	136,968
固定資産		
有形固定資産		
土地	21,977	23,907
その他(純額)	15,591	17,085
有形固定資産合計	37,569	40,992
無形固定資産		
のれん	1,183	1,431
その他	6,380	9,399
無形固定資産合計	7,563	10,830
投資その他の資産		
差入保証金	20,714	21,279
その他	16,394	14,748
貸倒引当金	4,830	651
投資その他の資産合計	32,278	35,376
固定資産合計	77,411	87,199
資産合計	240,104	224,168
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,411	16,457
短期借入金	5,304	3,307
未払法人税等	4,477	414
事業再構築引当金	1,236	4,826
その他の引当金	353	408
その他	19,191	19,427
流動負債合計	70,974	44,842
固定負債		
社債	70	140
長期借入金	8,312	12,496
引当金	325	429
その他	8,674	10,781
固定負債合計	17,382	23,847
負債合計	88,356	68,689

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,998	33,998
資本剰余金	34,278	34,511
利益剰余金	88,198	94,297
自己株式	5,400	8,000
株主資本合計	151,074	154,807
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	33	217
為替換算調整勘定	32	173
評価・換算差額等合計	65	44
少数株主持分	606	715
純資産合計	151,747	155,478
負債純資産合計	240,104	224,168

( 2 ) 四半期連結損益計算書  
( 第 3 四半期連結累計期間 )

( 単位 : 百万円 )

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年12月31日)
売上高	209,766	186,561
売上原価	145,697	128,470
売上総利益	64,068	58,090
販売費及び一般管理費	57,949	47,726
営業利益	6,118	10,364
営業外収益		
受取利息	249	154
受取配当金	280	23
持分法による投資利益	35	87
情報機器賃貸料	1,128	937
その他	4,620	2,368
営業外収益合計	6,314	3,570
営業外費用		
支払利息	235	185
投資有価証券評価損	1,146	105
情報機器賃貸費用	1,174	968
為替差損	1,874	28
その他	893	1,103
営業外費用合計	5,324	2,391
経常利益	7,109	11,543
特別利益		
固定資産売却益	31	52
リース会計基準の適用に伴う影響額	4,651	-
事業再構築引当金戻入額	-	3,590
その他	551	281
特別利益合計	5,234	3,924
特別損失		
固定資産売却損	-	28
投資有価証券評価損	1,771	-
投資有価証券売却損	2,208	-
減損損失	1,300	493
貸倒引当金繰入額	-	3,852
事業再構築費用	4,565	540
その他	167	192
特別損失合計	10,013	5,107
税金等調整前四半期純利益	2,330	10,360
法人税、住民税及び事業税	2,052	4,988
法人税等調整額	825	381
法人税等合計	1,227	4,607
少数株主利益又は少数株主損失 ( )	0	83
四半期純利益	1,103	5,669

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,330	10,360
減価償却費	4,602	3,689
減損損失	1,300	493
のれん償却額	283	201
事業再構築引当金の増減額(は減少)	4,553	3,590
貸倒引当金の増減額(は減少)	595	3,880
受取利息及び受取配当金	530	177
支払利息	235	185
為替差損益(は益)	260	8
持分法による投資損益(は益)	35	87
リース会計基準の適用に伴う影響額	4,651	-
投資有価証券売却損益(は益)	2,208	218
投資有価証券評価損益(は益)	2,917	105
売上債権の増減額(は増加)	27,072	24,147
リース投資資産の増減額(は増加)	859	701
たな卸資産の増減額(は増加)	2,747	2,019
仕入債務の増減額(は減少)	24,685	24,210
その他	146	2,387
小計	6,219	15,966
利息及び配当金の受取額	593	198
利息の支払額	230	179
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	3,791	419
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,791	16,404
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	-	1,996
有価証券の償還による収入	500	2,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	4,329	1,649
投資有価証券の売却及び償還による収入	6,488	401
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	236	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	-	833
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	335
貸付けによる支出	251	620
貸付金の回収による収入	399	372
その他	523	1,307
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,094	3,298
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	254	69
長期借入れによる収入	400	250
長期借入金の返済による支出	1,319	2,368
自己株式の取得による支出	2,455	5,372
配当金の支払額	4,548	4,023
その他	42	54
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,221	11,637



(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	281	10
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,616	1,458
現金及び現金同等物の期首残高	49,637	51,748
現金及び現金同等物の四半期末残高	47,020	53,207

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）および当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年12月31日）

当社グループ（当社および連結子会社）は、カー用品の販売を主事業としておりますが、このカー用品の販売事業の売上高および営業利益の金額が全セグメントの売上高および営業利益の金額のいずれも90%超となっているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	188,211	12,333	6,404	2,817	209,766	-	209,766
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	370	-	-	92	462	462	-
計	188,582	12,333	6,404	2,909	210,228	462	209,766
営業利益又は営業損失( )	8,533	1,888	342	184	6,118	-	6,118

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1)北米.....米国

(2)欧州.....フランス

(3)アジア.....中国、台湾、タイ、シンガポール

3. 会計処理の方法の変更

( 棚卸資産の評価に関する会計基準 )

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、営業利益が日本で65百万円減少しております。

( リース取引に関する会計基準 )

第1四半期連結会計期間より「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））および「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、営業利益が日本で28百万円増加しております。

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年12月31日）

米国事業の撤退により、本邦の売上高が全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超になったため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	北米	欧州	アジア	計
海外売上高（百万円）	12,333	6,404	2,420	21,158
連結売上高（百万円）				209,766
連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	5.9	3.0	1.2	10.1

（注）1．国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2．各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1)北米.....米国

(2)欧州.....フランス

(3)アジア.....中国、台湾、タイ、シンガポール

3．海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

米国事業の撤退により、海外売上高が連結売上高の10%未満になったため、海外売上高の記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は平成21年5月15日開催の取締役会決議により、平成21年5月18日から平成21年7月24日までの期間に自己株式1,600,000株、取得価額の総額5,369百万円を取得しております。

また、同取締役会決議により、平成21年5月22日に自己株式1,800,971株の消却を実施したことにより、自己株式が7,974百万円減少し、あわせて利益剰余金7,739百万円、資本剰余金234百万円減少いたしました。

## 6. その他の情報

### 部門別連結売上高および構成比率

部門	前年同四半期 (平成21年3月期 第3四半期)		当四半期 (平成22年3月期 第3四半期)		増減
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減率 (%)
卸売部門	117,568	56.1	108,894	58.4	7.4
小売部門	89,239	42.5	74,802	40.1	16.2
その他	2,958	1.4	2,864	1.5	3.2
合計	209,766	100.0	186,561	100.0	11.1

(注)「その他」はリース料収入であります。

### 商品別連結売上高および構成比率

品目	前年同四半期 (平成21年3月期 第3四半期)		当四半期 (平成22年3月期 第3四半期)		増減
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減率 (%)
タイヤ・ホイール	44,733	21.3	39,602	21.2	11.5
カーエレクトロニクス	52,204	24.9	52,677	28.2	0.9
オイル・バッテリー	20,807	9.9	18,937	10.2	9.0
車外用品	22,397	10.7	17,990	9.7	19.7
車内用品	18,480	8.8	16,327	8.8	11.6
カースポーツ用品	13,918	6.6	11,994	6.4	13.8
サービス	13,997	6.7	12,754	6.8	8.9
その他	23,227	11.1	16,277	8.7	29.9
合計	209,766	100.0	186,561	100.0	11.1

(注)「その他」は車販売収入、リース料収入等であります。